



太陽熱利用給湯システム

取扱説明書

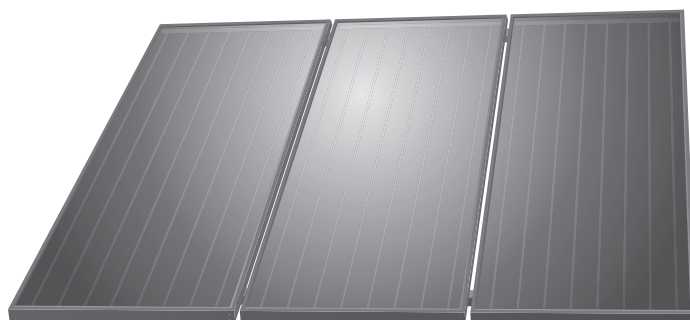
型名(システム型名)

ASEH-2200

ASEH-3200

(貯湯ユニット型名：ASEH-200T)

保証書別添付



お買い上げありがとうございます。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ずご確認ください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

20872500 (K)

取扱説明書をお読みになる前に

お買い求めいただきました太陽熱利用給湯システム(以降ソーラーシステム)は接続する給湯器により使用方法が異なります。
✓(チェックマーク)が記入してある使用方法でご使用ください。

使用方法は以下の条件により選択されています。

- ☐ 夢太郎Ⅲs・Ⅲw・Ⅲx……………使用方法1
- ☐ B-MAX……………使用方法2
- ☐ 熱いお湯を接続できる給湯器……使用方法3
- ☐ 熱いお湯を接続できない給湯器…使用方法4
- ☐ 給湯器を接続していない……………使用方法5

✓(チェックマーク)が記入されていない場合はお買い求めの販売店にお問い合わせください。



注意

接続している給湯器を買い換えたときは、必ずお買い求めの販売店にご連絡いただきソーラーシステムの設定を確認してください。設定を間違えると熱いお湯が出てやけどのおそれがあります。

困ったときは？

**お手入れは
どうしたらいいの？**

▶ 19～21ページ

**エラーコードを表示
している**

▶ 28・29ページ

**ソーラーシステムの
動きがいつもと違う**

▶ 27～29ページ



も	く	じ	ページ
ご使用の前に	取扱説明書をお読みになる前に		2
	安全上の注意		4
	各部の名称(外観図)		8
	リモコンの名称とはたらき		9
	ご使用前の準備と確認		9
使いかた	お湯を使う		
	使用方法1	夢太郎Ⅲs・Ⅲw・Ⅲx	10
	使用方法2	B-MAX	11
	使用方法3	熱いお湯を接続できる給湯器	12
	使用方法4	熱いお湯を接続できない給湯器	14
	使用方法5	給湯器を接続していない	17
	操作音の設定を変える		18
	必要なときに	日常の点検・手入れのしかた	
定期点検			22
1ヶ月以上使用しないとき			22
地震などの被害にあったとき			22
凍結のおそれがあるとき			22
(凍結予防)			23
(凍結したとき)			24
水抜き後の再使用方法			25
断水したとき			25
停電したとき			26
断水したときや非常時にお湯を取出す			26
故障かな？と思ったら			
(修理を依頼する前に)			27
(エラーコード)			28
仕 様			30
アフターサービス		裏表紙	

安全上の注意（必ずお守りください）

●本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。

 警告	人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容です。	 注意	人が軽傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容です。
---	--------------------------	---	-------------------------------

警告

●設置・移設・修理の注意

設置・移設・付帯工事・修理は必ずお買い求めの販売店に依頼してください。また、分解・改造を行わないでください。
火災・感電・事故の原因になります。

●機器の近くにガス類や引火性危険物を置かない

火災の原因になります。

●貯湯ユニットの前パネルを開けない

感電の原因になります。

●アース工事がされていることを確認する

故障や漏電のときに感電の原因になります。
不具合があるときはお買い求めの販売店にご連絡ください。

●電源プラグを濡れた手で触らない

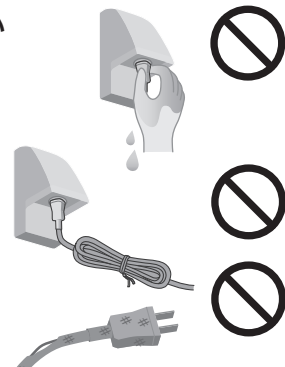
感電の原因になります。
雨が降っているときは電源プラグの抜き差しをしないでください。

●電源コードを束ねたまま使用しない

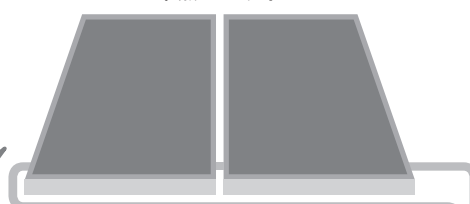
火災や発熱の原因になります。

●傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使わない

火災や感電の原因になります。



集熱ユニット



積雪・台風・強風・地震時の注意

●積雪が50cmを超える場合は、雪下ろしを専門業者に依頼する

お客様ご自身で行うと屋根から転落する危険性があります。

●使用しない集熱ユニットは屋根から降ろす

お買い求めの販売店に依頼してください。老朽化により集熱ユニットが落下して、けがをする危険性があります。

●機器の固定確認

積雪・台風・強風が予想されるときや地震の後は、集熱ユニットを固定しているステンレス線・固定金具・コーチねじの固定状態を地上から目視で確認してください。地上から確認できない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。切れたり、緩んだり、腐食や老朽化により集熱ユニットが落下する危険性があります。また貯湯ユニットのアンカーボルトが緩んでいないことを確認してください。転倒すると危険です。

機器内のお湯(水)について

●機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は飲用したり調理に使用したりしない

水質の変化により健康を害する原因になります。
雑用水として使用してください。

●飲用したり調理に使用したりするときは沸騰させてから使用する

沸騰させずに使用すると健康を害する原因になります。
必ず水道法に定められた飲用水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
熱いお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水として使用してください。
固形物・変色・濁り・異臭があった場合は、飲用しないですぐにお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

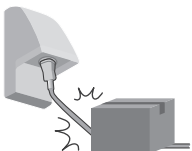
●お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

	禁止 「してはいけない」内容です。		実行 「しなければならない」内容です。
---	----------------------	---	------------------------

●電源コードに無理な力を加えない

火災や感電の原因になります。

- ・無理に曲げない
- ・引張らない
- ・物を載せない
- ・衝撃を与えない



●電源コードは切断して延長しない

火災・感電・発熱の原因になります。
電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。絶対に電源コードを切断して延長しないでください。



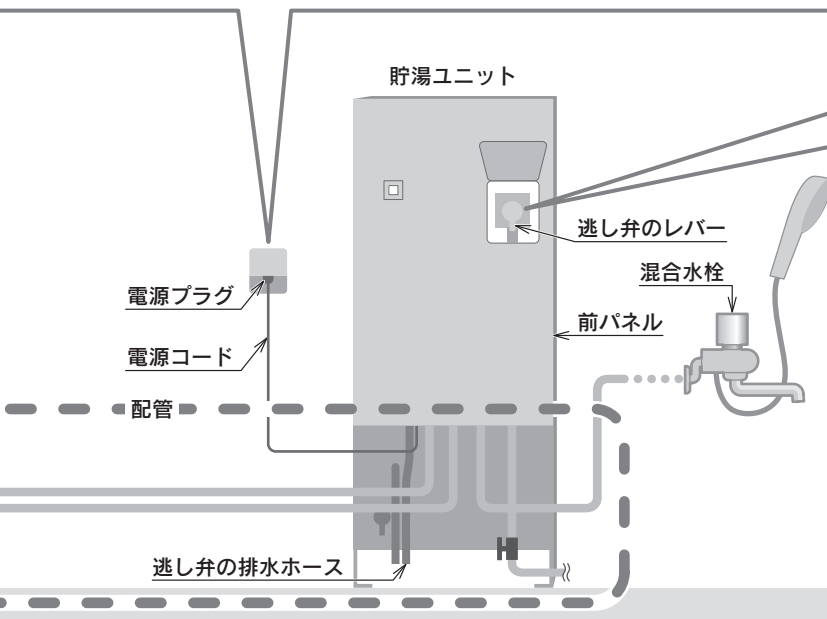
●異常時(こげくさいなど)は電源プラグを抜く

異常のまま使い続けると、火災・感電・故障の原因になります。
すぐにお買い求めの販売店にご連絡ください。



●電源プラグは確実に差し込む

確実に差し込まないと、火災・感電・発熱の原因になります。



●逃し弁のレバーは急に上げない

逃し弁の排水ホースから熱湯が出る可能性があるため、やけどの原因になります。



●逃し弁の点検時は、逃し弁周辺の配管などに手をつけない

やけどの原因になります。



熱湯や熱くなる部分に手をつけない

●給湯時は混合水栓に手をつけない

やけどの原因になります。



●給湯配管やソーラー配管に手をつけない

やけどの原因になります。



●取水時・排水時は熱湯に注意し、お湯に手をつけない

やけどの原因になります。



お湯の温度を確認する

●シャワー使用中は使用者以外のお湯の温度を変更しない

使用者以外のお湯の温度を変えると、突然熱湯や冷水が出て、やけどや思わぬ事故の原因になります。



●入浴時やシャワー使用時は、必ず手で

お湯の温度を確かめる

やけどの原因になります。
また、停電時や故障時でも熱いお湯が出ることがあります。



●給湯温度を変更するときは他の場所でお湯を使用していないことを確認してから行う

やけどの原因になります。



●停電中および復帰後にお湯を使うときはお湯の温度を確かめる

熱いお湯が出る可能性があるため、やけどの原因になります。



●お湯を使用中は温度変化に注意する

以下の場合は一時的に熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

- ・お湯を止めた後に再使用するとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・他の場所で大量に水を使用したとき



安全上の注意（必ずお守りください）

！ 注意

お手入れ時や点検時は次のことを行う

- **お手入れや点検後は点検口のふたは必ず閉じる**

雨やゴミが入ると感電・ショート・漏電の原因になることがあります。

- **逃し弁の作動確認を定期的にする**

逃し弁が正しく作動しないと水漏れの原因になることがあります。

作動しないときはお買い求めの販売店にご連絡ください。 **20ページ**

- **電源コードを引張って電源プラグを抜かない**

火災や感電の原因になることがあります。

- **電源プラグのほこりは定期的にふきとる**

ほこりを乾いた布でふきとってください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になることがあります。

集熱ユニット

貯湯ユニット

点検口ふた

逃し弁

混合水栓

電源プラグ

電源コード

配管

給水元栓

アンカーボルト

- **家庭用以外の使用禁止**

この機器は家庭用です。家庭用以外に使用すると保証の対象外になります。

- **機器や配管に無理な力を加えない**

貯湯ユニットや集熱ユニットの上に乗ったり、配管をゆらしたりすると破損や転落事故の原因になることがあります。

- **熱湯の排水禁止**

貯湯ユニットのお湯は冷めてから排水しないと、やけどの原因になることがあります。

- **水洗いしない**

漏電による火災や感電の原因になることがあります。

- **純正部品以外は使用しない**

事故や故障の原因になることがあります。

- **不凍液に注意**

不凍液を万一飲んだ場合はすぐに吐かせ、すみやかに医師の診断を受けてください。

- **必ず正しい組み合わせで使用する**

専用の集熱ユニットと組み合わせで使用しないと、火災や事故の原因になることがあります。

- **凍結のおそれがあるときに水抜きをしない場合は、電源プラグを抜かない**

配管が凍結して水漏れの原因になることがあります。

- **上水道を使用する**

給水には水道水を使用してください。上水道以外を使用した場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

- **1ヶ月以上使用しないときは機器の水抜きを行う**

長期間タンクにたまった水は、水質変化により健康を害する原因になることがあります。

「凍結のおそれがあるとき」の「貯湯ユニット内のお湯(水)を抜く方法」に従って水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。 **23ページ**

据付後は次のことを確認する

●貯湯ユニットの脚がアンカーボルトで固定されていること

地震などにより貯湯ユニットが転倒してけがや事故の原因になることがあります。固定されていない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。



●防水処理・排水処理済みの床面に設置されていること

水漏れによる被害の原因になることがあります。お買い求めの販売店にご確認・ご依頼ください。



●配管に凍結予防がされていること

凍結して破損すると水漏れの原因になることがあります。お買い求めの販売店にご確認・ご依頼ください。



お願い

水漏れの確認

●機器や配管などから水漏れがないことを確認する

混合水栓について

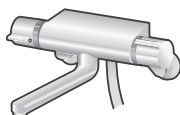
●通水抵抗が少ないもの、シャワーヘッドの圧力損失が少ないものを使用する

出湯量減少の原因になることがあります。

●水圧が低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しない

●サーモスタット付混合水栓の使用を推奨

熱いお湯が出てやけどの原因になることがあります。



雷発生時の注意

●雷が鳴りはじめたら電源プラグをコンセントから抜く

雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷する原因になることがあります。

●雷がやんだ後は、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差し込む

電源プラグを濡れた手で触ると感電の原因になることがあります。



以下の場合取扱説明書に従って処置を行う

●ソーラーリモコンにエラーコードを表示したとき

28・29ページ

処置を行わないで何度もリセットを繰り返すと、火災や事故の原因になることがあります。

●凍結のおそれがあるとき 22・23ページ

冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。凍結により機器が破損した場合の修理は保証期間内でも有料になります。

断水時・停電時の注意

●断水したときは給水元栓を閉める

給水元栓を閉めないと、断水復旧後にタンクのお湯(水)が濁ったり、お湯(水)の出る勢いが弱くなったりすることがあります。

断水のときはお湯も水も出ません。すべての混合水栓を開けないでください。

●断水時は電源プラグを抜かない

不凍液沸騰の原因になることがあります。

●停電中は熱いお湯が出ることがあるので注意する

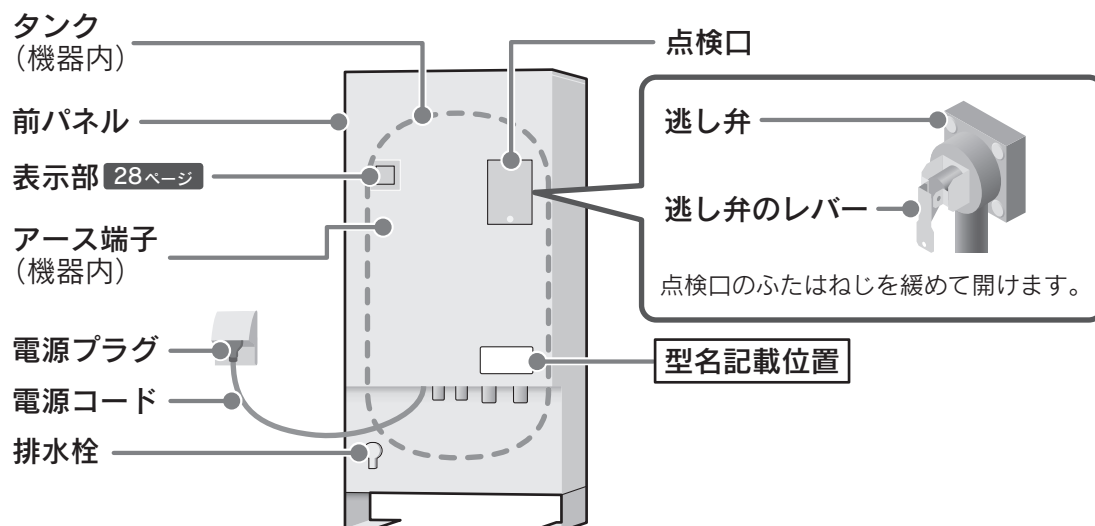
やけどの原因になることがあります。

各部の名称

外観図

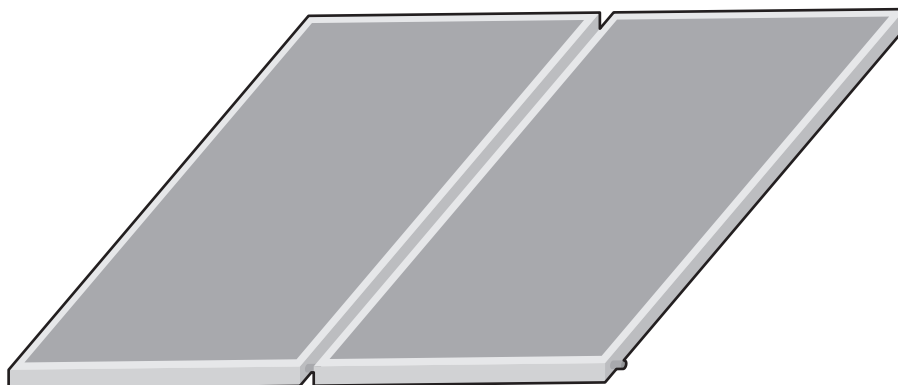
イラストはイメージです。

貯湯ユニット

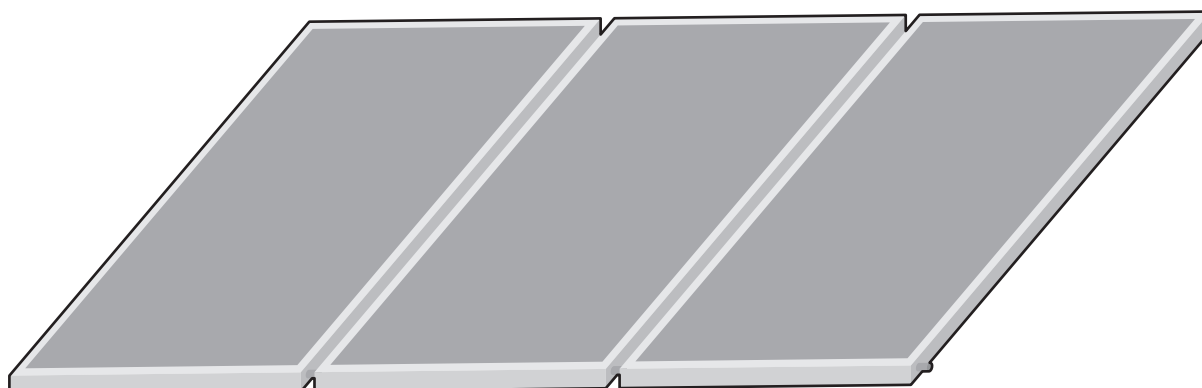


集熱ユニット

2枚仕様



3枚仕様



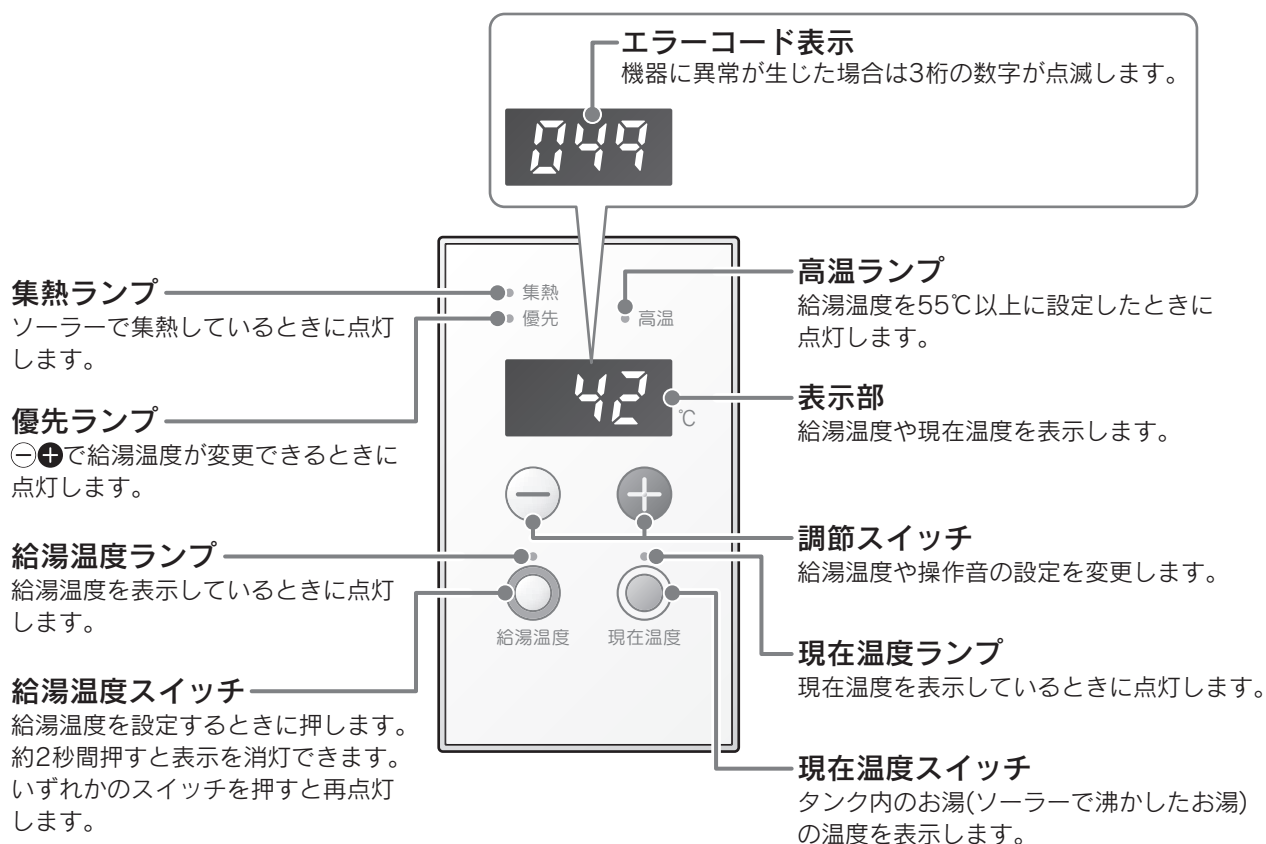
リモコンの名称とはたらき

台所リモコン(CMR-2811)
(ソーラーリモコン)

ご使用の前に

使いかた

必要なときに



ご使用前の準備と確認

1 タンクが満水になっていることを確認する

タンクが満水になっていない場合は「水抜き後の再使用方法」に従って満水にしてください。 **25ページ**

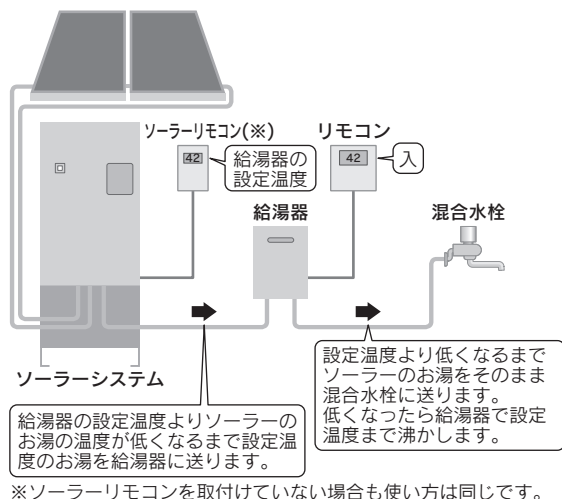
2 水漏れがないことを確認する

貯湯ユニット・集熱ユニット・配管などから水漏れがないことをご確認ください。

お湯を使う

使用方法1〔夢太郎Ⅲs・Ⅲw・Ⅲx〕 2ページ

給湯

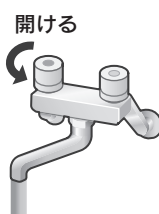


1 給湯器の運転スイッチを押して「入」にする

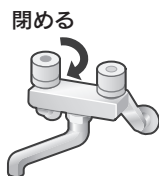
2 給湯器のリモコンで給湯温度を設定する

- 給湯温度を変更した場合は、ソーラーリモコンのブザーが「ピピッ」と鳴ってお知らせします。
- ソーラーリモコンは自動的に給湯器の設定温度を表示します。
- ソーラーリモコンでは給湯温度の変更はできません。

3 給湯栓を開ける(お湯を出す)



4 給湯栓を閉める(お湯を止める)



やけどに注意！

- お湯を使用する前は、リモコンの給湯温度を確認してください。
- シャワーを使用する前は、手でお湯の温度を確認してください。
- 給湯温度を変更するときは、他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。特にシャワー使用中は注意してください。
- 停電時や故障時でも熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

お知らせ

- サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、お湯の温度を安定させるため、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より約10℃高めに設定して使用してください。

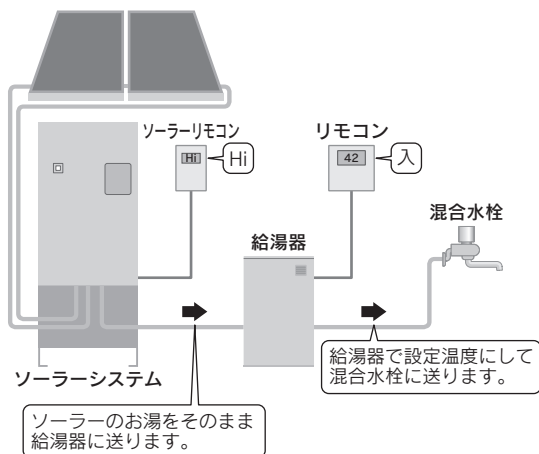
ふろ自動

(給湯器にふろ自動機能がある場合)

- 通常通り使用できます。

使用方法2〔B-MAX〕 2ページ

給湯

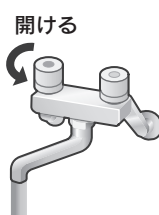


ソーラーリモコンを取付けている場合は、を押したのち $\oplus$ で給湯温度を「Hi」に設定してください。

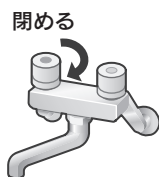
1 給湯器の運転スイッチを押して「入」にする

2 給湯器のリモコンで給湯温度を設定する

3 給湯栓を開ける（お湯を出す）



4 給湯栓を閉める（お湯を止める）



やけどに注意！

- 停電時や故障時でも熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

ふろ自動

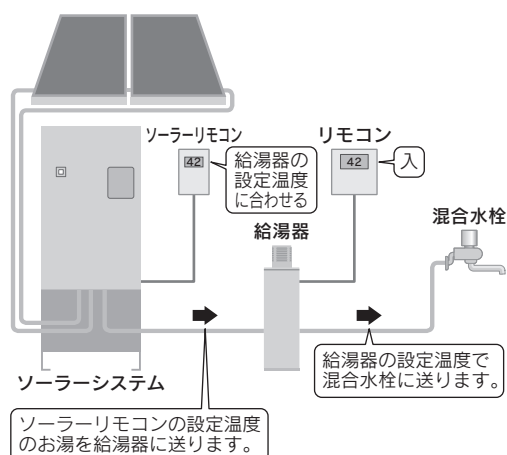
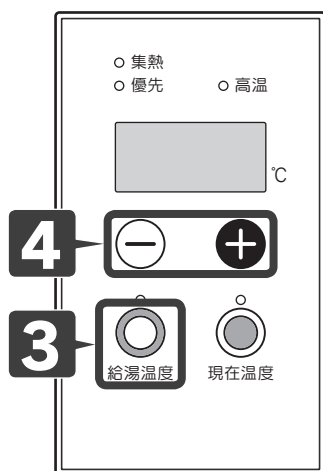
（給湯器にふろ自動機能がある場合）

- 通常通り使用できます。

お湯を使う

使用方法3〔熱いお湯を接続できる給湯器〕 2ページ

給湯



やけどに注意！

●停電時や故障時でも熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

1 給湯器の運転スイッチを押して「入」にする

2 給湯器のリモコンで給湯温度を設定する

3  を押す
給湯温度

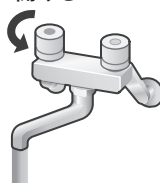
4  または  で給湯温度を設定する

給湯器のリモコンの「給湯温度」に合わせてください。

5 給湯栓を開ける（お湯を出す）

●お湯の温度が給湯器のリモコンの給湯温度より熱く感じる場合は、ソーラーリモコンの給湯温度を下げてください。

開ける

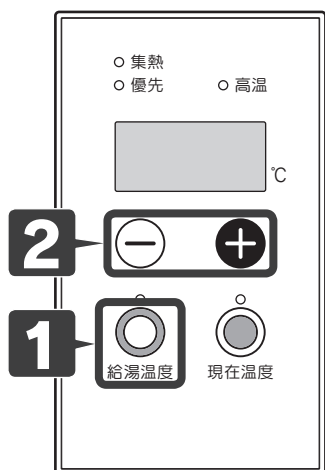


6 給湯栓を閉める（お湯を止める）

閉める



ふろ自動 ふろ自動をする前に以下の操作を行ってください。
(給湯器にふろ自動機能がある場合)



1 を押す
給湯温度

2 または で給湯温度を設定する

給湯器のリモコンの「ふろ温度」より5℃以上低い温度に設定してください。

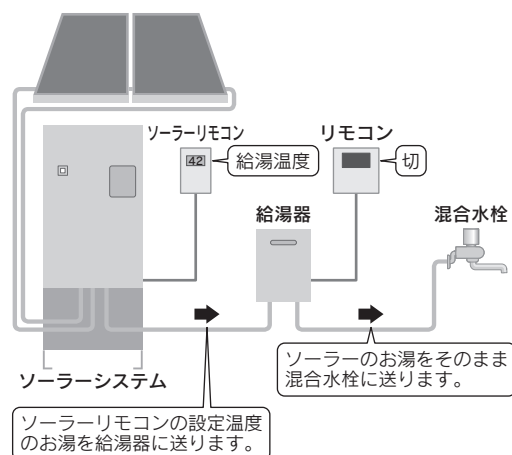
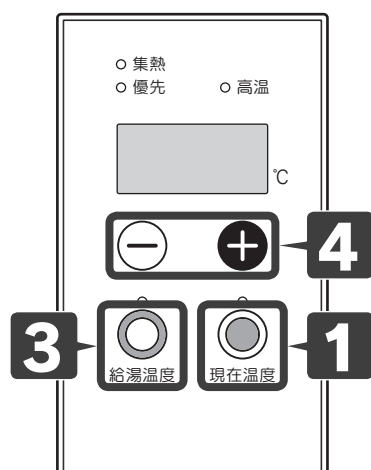
やけどに注意！

- ふろ自動をするときにソーラーリモコンの給湯温度を給湯器のリモコンのふろ温度より5℃以上低くしないと、熱いお湯が出ることがあります。

お湯を使う

使用方法4〔熱いお湯を接続できない給湯器〕 2ページ

給湯



1  を押してソーラーのお湯の温度を確認する
現在温度

ソーラーのお湯の温度が給湯器の設定温度より

高い

低い

2 給湯器の運転スイッチを押して「切」にする

3  を押す
給湯温度

4  または  で給湯温度を設定する

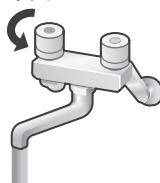
給湯温度設定範囲

Lo・30℃・35℃・37～48℃(1℃ごと)・50℃・55℃・60℃・Hi

5 給湯栓を開ける(お湯を出す)

お湯がぬるくなったとき ➡ 15ページの**2**へ

開ける



6 給湯栓を閉める(お湯を止める)

閉める

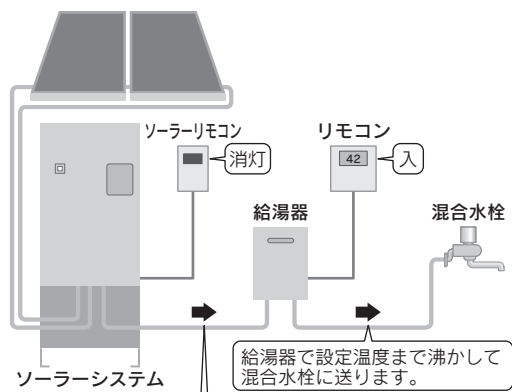
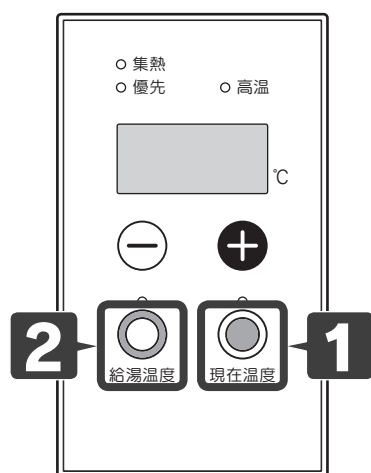


やけどに注意！

- ソーラーリモコンの表示部が点灯している状態で給湯器の運転スイッチを「入」にしないでください。
ソーラーのお湯の温度が高いときに熱いお湯が出ることがあります。
- お湯を使用する前は、リモコンの給湯温度を確認してください。
- シャワーを使用する前は、手でお湯の温度を確認してください。
- 給湯温度を変更するときは、他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。特にシャワー使用中は注意してください。
- 停電時や故障時でも熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

お知らせ

- サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、お湯の温度を安定させるため、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より約10℃高めに設定して使用してください。



ソーラーのお湯の温度を約30℃にして給湯器に送ります。(※)

※ソーラーのお湯の温度が約30℃より低くなったときは、その温度で送ります。温度はお湯の量により変化します。

2 給湯温度を約2秒間押して表示部を消灯させる

給湯温度

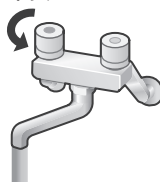
- ソーラーリモコンの表示部が消えます。
(表示部が消えているときは、ソーラーのお湯の温度を約30℃にして給湯器に送ります。)

3 給湯器の運転スイッチを押して「入」にする

4 給湯器のリモコンで給湯温度を設定する

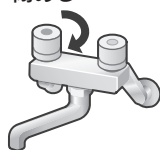
5 給湯栓を開ける(お湯を出す)

開ける



6 給湯栓を閉める(お湯を止める)

閉める



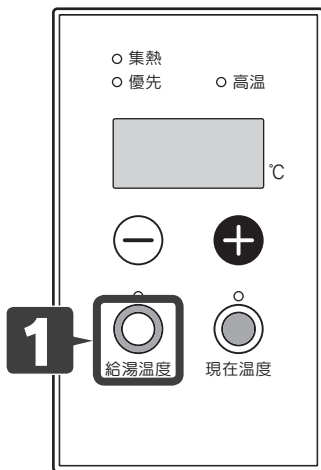
ソーラーリモコンの表示部が消灯しているときにスイッチの操作を行うと表示部が再点灯しますので、すぐに  を約2秒間押して消灯させてください。
給湯器の運転スイッチが「入」のときにソーラーリモコンの表示部を点灯させると、熱いお湯が出る場合があります。

お湯を使う

使用方法4〔熱いお湯を接続できない給湯器〕 2ページ

ふろ自動 ふろ自動をする前に以下の操作を行ってください。

(給湯器にふろ自動機能がある場合)



1  を約2秒間押して表示部を消灯させる
給湯温度

- ソーラーリモコンの表示部が消えます。
(表示部が消えているときは、ソーラーのお湯の温度を約30℃
にして給湯器に送ります。)

※ソーラーのお湯の温度が約30℃より低くなったときは、
その温度で送ります。
温度はお湯の量により変化します。

やけどに注意！

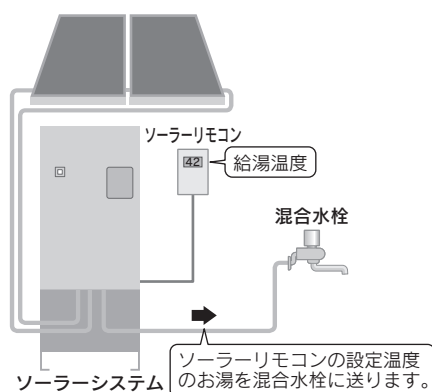
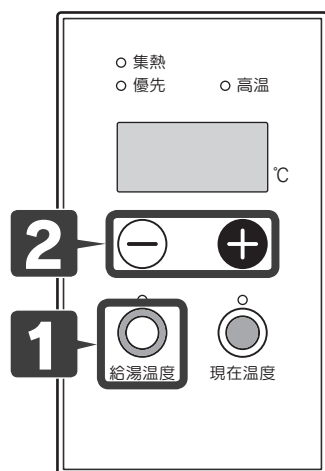
- ソーラーリモコンの表示部が点灯している状態でふろ自動をすると、熱いお湯が出ることがあります。

たし水

- 約30℃のお湯が出ます。
(ソーラーのお湯の温度が約30℃より低くなったときは、その温度のお湯が出ます。)
- ソーラーリモコンを取付けている場合は、給湯温度スイッチを押して「Lo」に設定すると水道水の温度になります。

使用方法5〔給湯器を接続していない〕 2ページ

給湯



やけどに注意！

- お湯を使用する前は、リモコンの給湯温度を確認してください。
- シャワーを使用する前は、手でお湯の温度を確認してください。
- 給湯温度を変更するときは、他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。特にシャワー使用中は注意してください。
- 停電時や故障時でも熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

お知らせ

- サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、お湯の温度を安定させるため、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より約10℃高めに設定して使用してください。

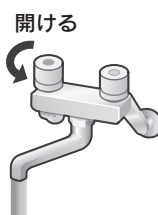
1 を押す
給湯温度

2 または で給湯温度を設定する

給湯温度設定範囲

Lo・30℃・35℃・37～48℃(1℃ごと)・50℃・55℃・60℃・Hi

3 給湯栓を開ける(お湯を出す)



4 給湯栓を閉める(お湯を止める)



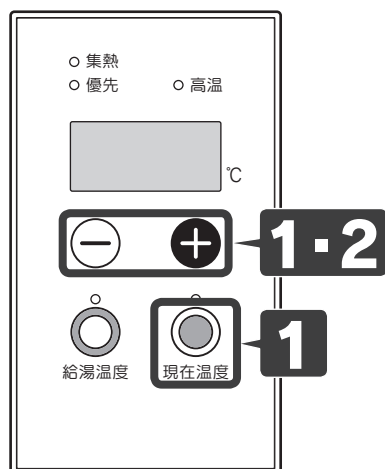
使用前に

使いた

必要なときに

操作音の設定を変える

操作音の入/切が設定できます。



1  を押した状態で  を約5秒間押す(長押し)
現在温度

2  または  でon/oFFを選ぶ

設定内容
on(入) ↔ oFF(切)



お買い求め時

on

 を押した状態で  を約5秒間押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

お知らせ

- 「oFF」に設定しても以下の音は消えません。
 - ・操作できないときの拒否音
 - ・給湯器の設定温度を変更したときのお知らせ(使用方法1の場合)

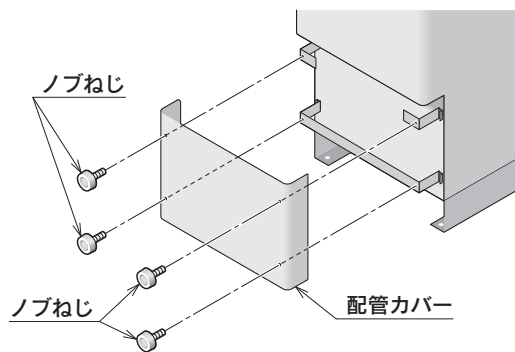
日常の点検・手入れのしかた

⚠ 注意

- 点検・手入れのときは手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 前パネルははずさないでください。

配管カバーを取付けている場合

ノブねじ(4本)をはずして配管カバーを取りはずしてから点検・手入れを行ってください。
点検・手入れが終わったら元通りに取付けてください。



毎日

水漏れの確認

機器や配管などから水漏れしていないことを確認してください。
※集熱中は逃し弁の排水ホースから、膨張水が出ることがあります。

周囲の確認

機器の周囲に灯油・ガス・ガソリン・シンナーなどの引火性危険物がないことを確認してください。

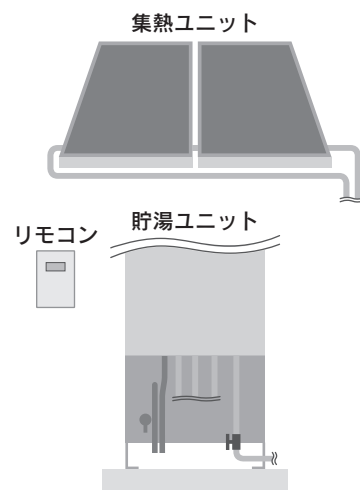
適時に

集熱ユニットの掃除

ガラス面が汚れていたり、落ち葉などが堆積していたりする場合はお湯の沸き上がりが悪くなりますので、お買い求めの販売店に掃除を依頼してください。

リモコン・貯湯ユニットの掃除

水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因になることがあります。



日常の点検・手入れのしかた

1ヶ月に1回以上

逃し弁の確認

警告

- 逃し弁周辺の配管は熱くなりますので、手を触れないでください。
- 逃し弁のレバーはゆっくり操作してください。逃し弁のレバーを急に上げると熱湯が勢いよく出ることがあるので、やけどの原因になります。
- 排水時はホースや排水が熱くなることがありますので、手を触れないでください。

1 逃し弁のレバーをゆっくり上げる

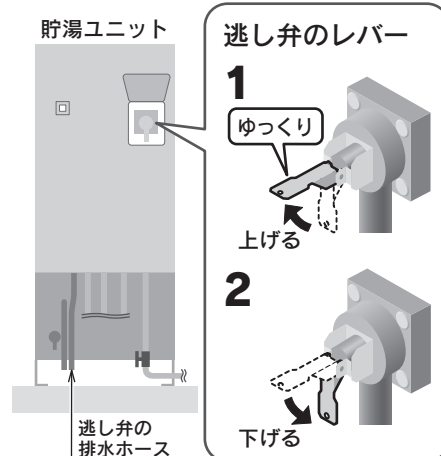
逃し弁の排水ホースからお湯(水)が出ることを確認します。

2 逃し弁のレバーを下げる

お湯(水)が止まることを確認します。

3 逃し弁のレバー上げ下げを数回繰り返す

湯あかやゴミを流します。



1年に1回以上

タンクのお手入れ(水抜き)

警告

- 逃し弁周辺の配管は熱くなりますので、手を触れないでください。
- 逃し弁のレバーはゆっくり操作してください。逃し弁のレバーを急に上げると熱湯が勢いよく出ることがあるので、やけどの原因になります。
- 排水時はホースや排水が熱くなることがありますので、手を触れないでください。

1 給水元栓を閉める

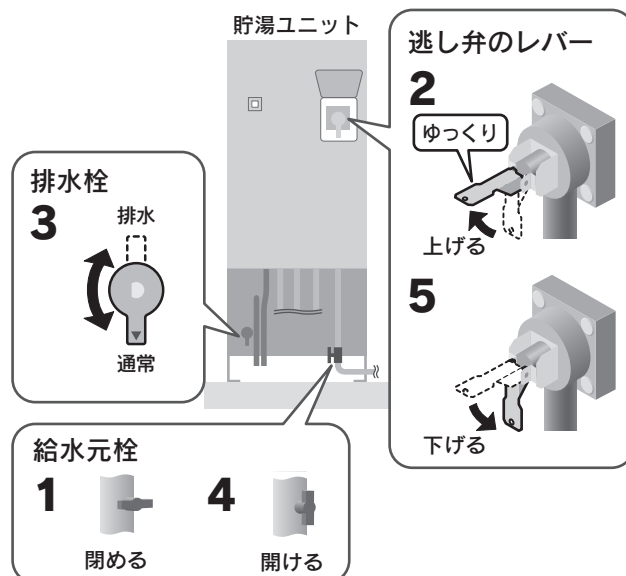
2 逃し弁のレバーをゆっくり上げる

3 排水栓を「排水」にし、排水がきれいになったら「通常」に戻す

1～2分間排水してください。

4 給水元栓を開ける

5 逃し弁の排水ホースから連続的に お湯(水)が出ることを確認したら 逃し弁のレバーを下げる



水フィルタの掃除

警告

- 逃し弁周辺の配管は熱くなりますので、手を触れないでください。
- 逃し弁のレバーはゆっくり操作してください。逃し弁のレバーを急に上げると熱湯が勢いよく出ることがあるので、やけどの原因になります。
- 排水時はホースや排水が熱くなることがありますので、手を触れないでください。

水フィルタにゴミがたまるとお湯が出にくくなりますので、定期的に掃除をしてください。

1 給水元栓を閉める

2 逃し弁のレバーをゆっくり上げる

3 逃し弁の排水ホースから水が出なくなったら水フィルタをはずして掃除をする

水フィルタをはずしたときに配管内に残っている水が出ますが、異常ではありません。

掃除は歯ブラシなどを使用してください。

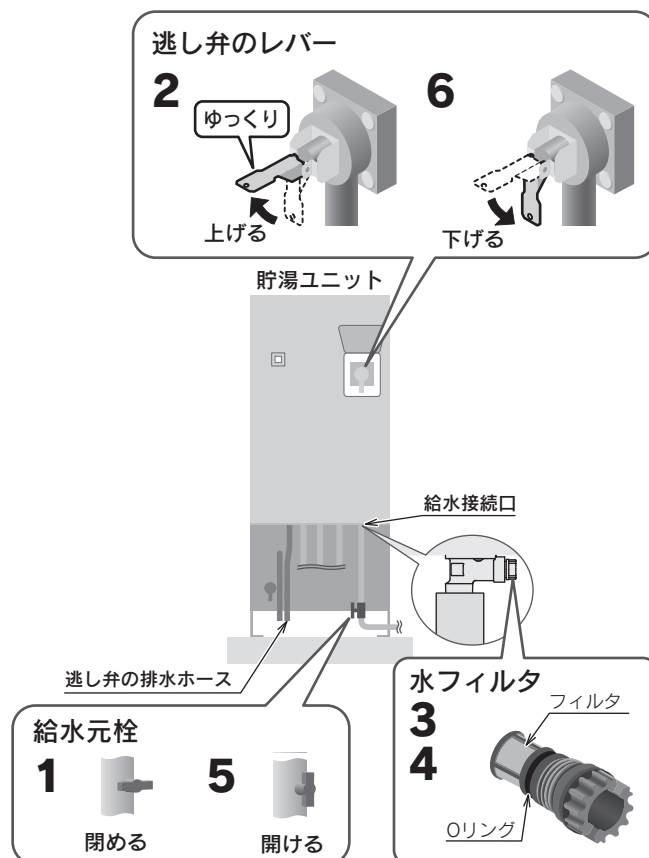
フィルタを変形させたり、Oリングに傷をつけたりしないように注意してください。

4 Oリングをきれいにふいて水フィルタを元通りに取付ける

5 給水元栓を開ける

6 逃し弁の排水ホースから連続的にお湯(水)が出ることを確認したら逃し弁のレバーを下げる

水フィルタから水漏れがないことを確認します。



8～10年に1回以上

不凍液の入替え

- 不凍液は交換が必要です。お買い求めの販売店にご依頼ください。
- 不凍液は当社純正部品の不凍液を必ず使用してください。外気温 -20°C (無風状態)まで凍結しません。不凍液を薄めると故障・能力低下の原因になります。他メーカー品の不凍液を混ぜたり、使用したりしないでください。正常な運転ができないだけでなく、故障の原因になることがあります。

積雪・台風・強風が予想されるときや地震の後

機器の固定確認

- 積雪・台風・強風が予想されるときや地震の後は、集熱ユニットを固定しているステンレス線・固定金具・コーチねじの固定状態を地上から目視で確認してください。地上から確認できない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。切れたり、緩んだり、腐食や老朽化により集熱ユニットが落下する危険性があります。また貯湯ユニットのアンカーボルトが緩んでいないことを確認してください。転倒すると危険です。

積雪時

積雪が50cmを超える場合

- 雪下ろしを行ってください。
- 雪下ろしはお客様ご自身で行わず、専門業者に依頼してください。

定期点検

定期点検は有料です

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
- 定期点検はお買い求めの販売店にご連絡ください。

1ヶ月以上使用しないとき

- 電源プラグは抜かないでください。電源プラグを抜くと凍結のおそれがあるときに凍結予防装置が作動しません。また、不凍液が沸騰するおそれがあります。

再使用するとき

貯湯ユニット内の水が変質していることがあります。「凍結のおそれがあるとき」の「貯湯ユニット内のお湯(水)を抜く方法」、「水抜き後の再使用方法」に従って水を入替えてください。 [23・25ページ](#)

- やむをえず電源プラグを抜く場合は、凍結により貯湯ユニットや配管が破損するおそれがありますので、「凍結のおそれがあるとき」の「貯湯ユニット内のお湯(水)を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。 [23ページ](#)
また、不凍液沸騰防止のために機器内の不凍液を抜くことをお買い求めの販売店に依頼してください。

再使用するとき

「水抜き後の再使用方法」に従ってタンクを満水にしてください。 [25ページ](#)
また、不凍液の注入をお買い求めの販売店に依頼してください。

地震などの被害にあったとき

- 機器や配管の破損、水漏れなどを確認して、異常があればお買い求めの販売店にご連絡ください。

凍結のおそれがあるとき

- 冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
- 凍結のおそれがある地域では市販の電気ヒータを配管やバルブ類に巻いて、十分な保温を行ってください。保温が充分でないと凍結予防処置を行っても効果がありません。

凍結予防

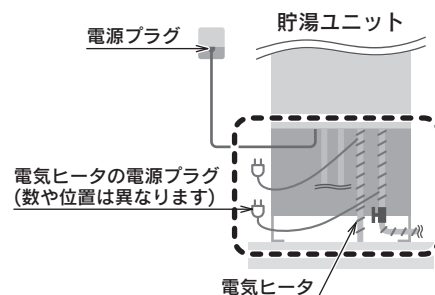
凍結予防には「凍結予防装置による方法」と「貯湯ユニット内のお湯(水)を抜く方法」があります。

凍結予防装置による方法(自動)

電源プラグが差し込まれていることを確認する

外気温が低くなると機器内の凍結予防ヒータに通電します。

※市販の電気ヒータを使用している場合は電気ヒータの電源プラグを差し込んでください。



貯湯ユニット内のお湯(水)を抜く方法〔冬期に長期間使用しないとき〕

- 長期間使用しないときにやむをえず電源プラグを抜くときは、この方法で行ってください。この方法では配管やバルブなどの凍結予防はできません。
- 配管カバーを取付けている場合は、取りはずしてから行ってください。 **19ページ**



警告

- 電源プラグは濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。
- 逃し弁周辺の配管は熱くなりますので、手を触れないでください。
- 逃し弁のレバーはゆっくり操作してください。逃し弁のレバーを急に上げると熱湯が勢いよく出ることがあるので、やけどの原因になります。
- 排水時はホースや排水が熱くなることがありますので、手を触れないでください。

1 電源プラグを抜く

2 給湯元栓を閉める

3 逃し弁のレバーをゆっくり上げる

4 排水栓をゆっくり「排水」にする

排水ホースからお湯(水)が出ます。
熱いお湯によるやけどに注意してください。

5 給湯栓を開ける

6 排水ホースからお湯(水)が出なくなったら水抜き栓を緩め、水フィルタをはずす

7 お湯(水)が出なくなったら電源プラグを差し込んで、約1分後に抜く

8 逃し弁のレバーを下げる

9 給湯栓を閉める

10 水抜き栓を締め、水フィルタを元通りに取付ける

11 排水栓を「通常」の位置にする

電源プラグ

1



7



排水栓

4

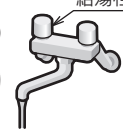


11



給湯栓

5



9



水抜き栓

6



10



給湯元栓

2



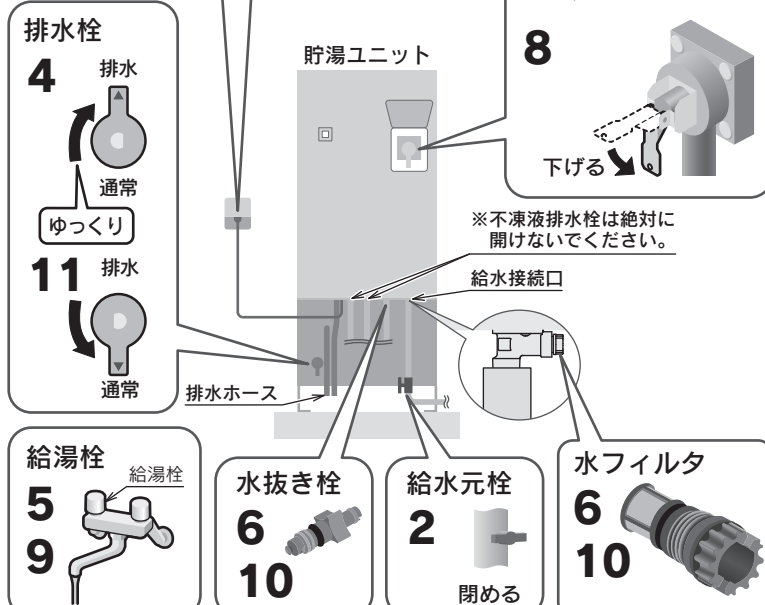
閉める

水フィルタ

6



10



お知らせ

- 再使用するときは「水抜き後の再使用方法」に従ってください。 **25ページ**
- 配管カバーを取付けている場合は、元通りに取付けてください。

凍結のおそれがあるとき

凍結したとき

給湯栓を開けてもお湯も水も出ません。自然解凍するまでお待ちください。
解けて水が出るまでは、以下の手順に従ってください。

1 給水元栓を閉める

2 ときどき、給水元栓を開けてから給湯栓を開ける

〈じゃ口から水が出ない場合〉

まだ凍結しています。給湯栓と給水元栓を閉め、時間をおいて再度**2**を行ってください。

〈じゃ口から水が出た場合〉

給湯栓を閉めて**3**を行ってください。

3 すべての給水栓・給湯栓を閉め、水道メーターが回っていないことを確認する

給水・給湯配管が凍結すると、配管や給水元栓が破損することがあります。

水道メーターが回っている場合は水漏れの可能性がありますので、お買い求めの販売店にご連絡ください。

1 給水元栓

閉める

2 給湯栓

開ける

水が出ない

閉める

水が出る

閉める

⇒ **3**へ

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける

①



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいに戻す

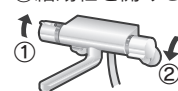
②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

水抜き後の再使用方法

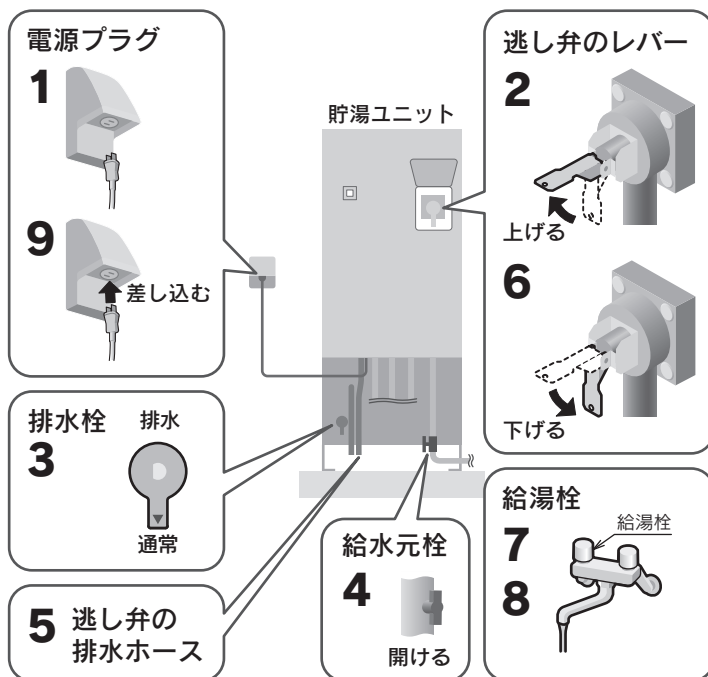
- 水抜き後に再使用するときは、タンクを満水にしてください。
- 配管カバーを取付けている場合は、取りはずしてから行ってください。19ページ

警告

- 電源プラグは濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。

タンクを満水にする

- 1 電源プラグを差し込まれていないことを確認する
- 2 逃し弁のレバーを上げる
- 3 排水栓が「通常」の位置になっていることを確認する
- 4 給水元栓を開ける
- 5 逃し弁の排水ホースから連続的に水が出ることを確認する
水が出るまで10～20分かかります。
逃し弁の排水ホースから連続的に水が出ればタンクは満水です。
- 6 逃し弁のレバーを下げる
- 7 混合水栓の給湯栓を開けて連続的に水（お湯）が出ることを確認する
サーモスタット付混合水栓の場合は40℃に設定して水を流します。
- 8 給湯栓を閉める
- 9 電源プラグを差し込む



お知らせ

- 配管カバーを取付けている場合は、元通りに取付けてください。

断水したとき

- 断水したときはすぐに給水元栓を閉めてください。
- 復旧したときははじめに給水栓を開けて、汚れた水が出なくなってから、給水元栓を開けて使用してください。
- 配管カバーを取付けている場合は、取りはずしてから行ってください。19ページ

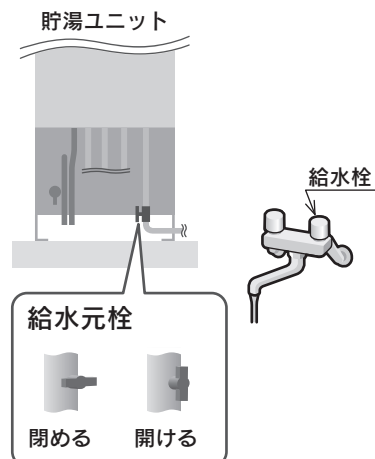
断水時

1 給水元栓を閉める

- 給水元栓を閉めないで、断水復旧後にタンクのお湯（水）が濁ったり、お湯（水）の出る勢いが弱くなったりすることがあります。
- 断水のときはお湯も水もでません。すべての混合水栓を開けないでください。

復旧後

- 1 給水栓を開けてじゃ口から汚れた水を出す
- 2 じゃ口の水がきれいになったら給水栓を閉める
- 3 給水元栓を開ける



お知らせ

- 配管カバーを取付けている場合は、元通りに取付けてください。

停電したとき

- 停電中は熱いお湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください。

断水したときや非常時にお湯を取出す

- 断水したときや非常時は、タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。
- 飲用や調理には使用しないでください。やむをえず使用する場合は、必ず沸騰させてください。
- 配管カバーを取付けている場合は、取りはずしてから行ってください。 **19ページ**

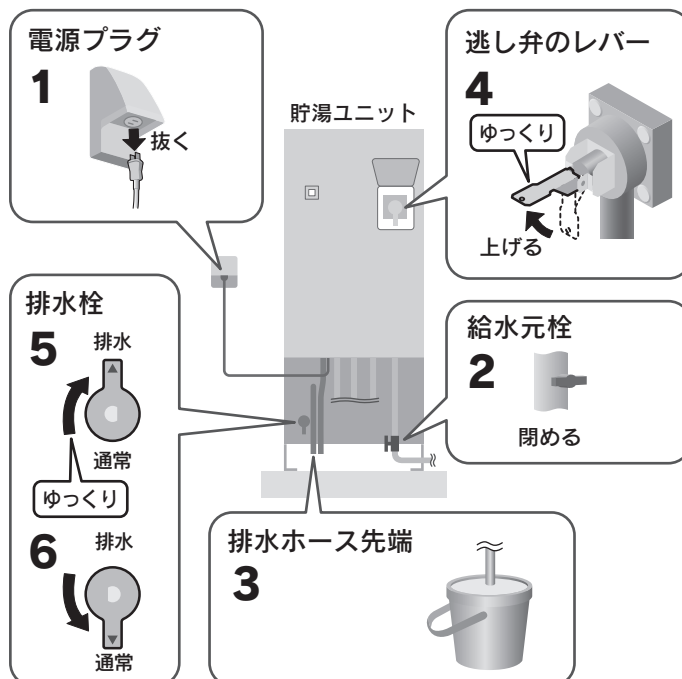
取水の方法



警告

- 電源プラグは濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。
- 逃し弁周辺の配管は熱くなりますので、手を触れないでください。
- 逃し弁のレバーはゆっくり操作してください。逃し弁のレバーを急に上げると熱湯が勢いよく出ることがあるので、やけどの原因になります。また、熱に強い容器でお湯(水)を受けてください。

- 1 電源プラグを抜く
- 2 給水元栓を閉める
- 3 排水ホースの先端をバケツなどで受ける
- 4 逃し弁のレバーをゆっくり上げる
- 5 排水栓をゆっくり「排水」にする
排水ホースからお湯(水)が出ます。
熱いお湯によるやけどに注意してください。
また出はじめのお湯(水)は湯あかやゴミが出ることがあります。
- 6 排水栓を「通常」の位置に戻してお湯を止める



お湯を取出し終えたら…

- 1 排水栓が「通常」の位置になっていることを確認する
- 2 逃し弁のレバーを下げる

お知らせ

- 再度使用するときは「水抜き後の再使用方法」に従ってください。 **25ページ**
- 配管カバーを取付けている場合は、元通りに取付けてください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

次のような場合は故障ではありません。修理を依頼する前にもう一度確認してください。

こんなときは		ご確認ください
給湯	お湯も水も出ない	●断水していませんか。 断水のときは貯湯ユニットに給水されないためお湯が出ません。 断水が復旧してから処置を行ってください。 25ページ ●給水元栓を閉めていませんか。開けてください。 ●配管が凍結していませんか。凍結が解消するまでお待ちください。
	お湯の出が悪い	●貯湯ユニットの給水接続口の水フィルタにゴミなどがつまっていませんか。 21ページ ●サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯温度を高くするとシャワーの勢が強くなります。
	お湯がぬるい (設定した温度にならない)	●配管内に残っている水が出てくることがあります。 お湯が出るまでしばらくお待ちください。 ●サーモスタット付混合水栓を使用してぬるいときは、リモコンの給湯温度をご確認ください。湯温安定のためリモコンの給湯温度は混合水栓の設定温度より約10℃高めにして使用してください。 ●1箇所のみお湯の温度がおかしいときは、混合水栓の故障の可能性があります。 ●給湯器のリモコンの給湯温度を上げてください。 ●給湯器の説明書をご確認ください。
	お湯の温度が上下したり 水になったりする	●次の場合が考えられます。 ・お湯を出したり止めたりをくり返したとき。 ・2箇所以上でお湯を使用したとき。 ・シャワーを確実に止めずに、再びシャワーを出したとき。 ・水道の圧力が変動していたとき。 ・少ししかお湯を出していないとき。(水になります。) ●給湯器の説明書をご確認ください。
	お湯から油が出る お湯がくさい	●初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出ることがありますが、しばらくすると消えます。
	お湯が白く見える	●水中に溶けていた空気が細かい泡となっているためです。異常ではありません。
	汚れたお湯が出る	●断水や近くで水道工事はありませんでしたか。 ●タンクのお手入れを行っていますか。 20ページ
	浴そうのお湯(水)が青く見える	●光の波長の関係で浴そうやお湯(水)が青く見えることがあります。
貯湯ユニット・給湯器	浴そうや洗面用具などが青くなる	●配管(銅配管)から溶出したわずかな銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸が反応して浴そうや洗面用具などが青くなることがありますが、異常ではありません。 「使いはじめに発生しやすく、時間の経過とともに発生しにくくなります。汚れを放置すると取れにくくなるので、こまめに掃除してください。汚れが取れにくい場合は、中性洗剤を使用するか、つけ置き洗いをすると効果的です。その後、水で充分に洗い流してください。」
	貯湯ユニットの排水口・排水配管から水が漏れる	●集熱中はタンクの水が膨張し、逃し弁の排水ホースからお湯(水)が出ることがあります。異常ではありません。 ●集熱中以外の場合は、逃し弁のレバーを数回上下に動かした後、レバーを下げて水が止まることをご確認ください。
	逃し弁の排水ホースからお湯(水)が出る	●逃し弁のゴミかみによりお湯(水)が漏れることがあります。 「逃し弁の確認」を行ってください。 20ページ
リモコン	天気が良いのに給湯器がお湯を沸かしている	●ソーラーのお湯の温度が設定温度に到達していないためです。 ●逃し弁のゴミかみによりお湯(水)が漏れていませんか。 「逃し弁の確認」を行ってください。 20ページ ●給湯器に入るまでの配管内の水が冷えているためです。 給湯器にお湯が入って来るまで給湯器でお湯を沸かします。
	リモコン表面が熱く感じる	●使用中は表示画面が点灯しますので、熱く感じる場合があります。
	操作音がしない	●操作音の設定をご確認ください。 18ページ

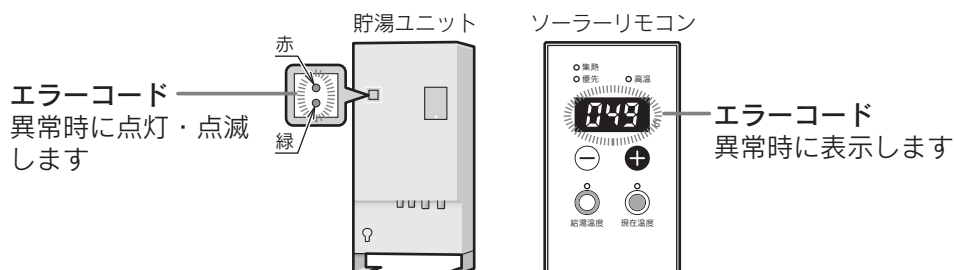
運転中に誤作動したときは

●万一運転中に雷、自動車無線などで誤作動したり、動かなくなったときは電源プラグをコンセントから抜き、数秒後に再度差し込んでください。

故障かな？と思ったら

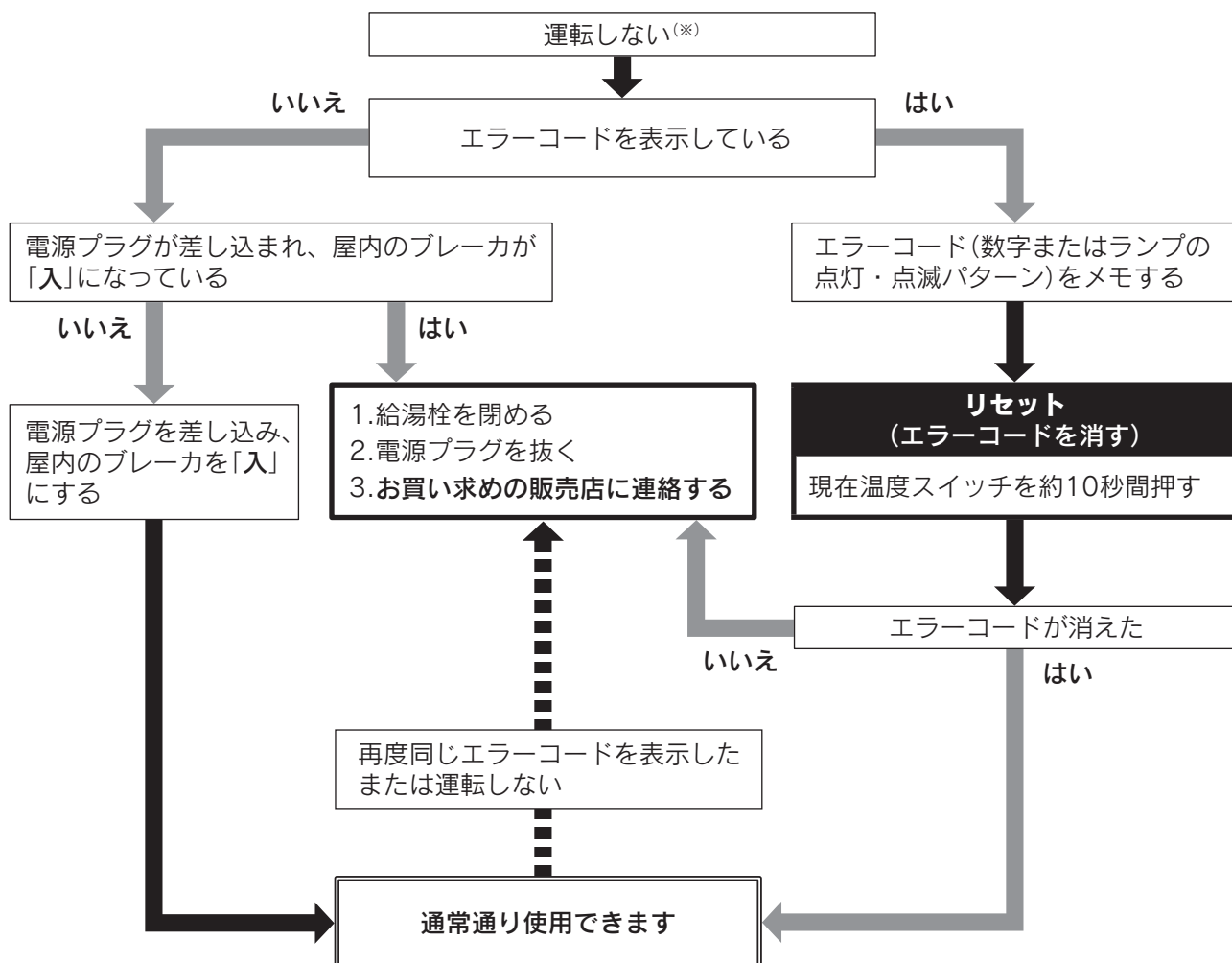
エラーコード

異常・故障の場合は貯湯ユニットの表示部またはソーラーリモコンにエラーコードを表示します。
(ソーラーリモコンでは数字、貯湯ユニットの表示部ではランプの点灯・点滅でお知らせします。)



エラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき

● 以下の処置を行ってください。



※運転を停止しないエラーコードもあります。

エラーコード一覧

表示部ランプ		エラーコード	説 明	確 認・処 置
赤	緑			
1回点滅	点灯	049	ソーラー不凍液不足検知	リセットしてもエラーコードが消えない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
1回点滅	消灯	161	給湯高温異常	
2回点滅	消灯	300	外気温サーミスタ異常	
2回点滅	点灯	309	ソーラー戻りサーミスタ異常	
3回点滅	消灯	310	缶体上サーミスタ異常	
4回点滅	消灯	311	給湯サーミスタ異常	
3回点滅	点灯	320	貯湯サーミスタ異常	
5回点滅	消灯	321	給水サーミスタ異常	
4回点滅	点灯	439	ソーラー不凍液水位異常	
5回点滅	点灯	599	ソーラー水位オーバー異常	
6回点滅	点灯	649	ソーラーポンプ異常	
6回点滅	消灯	651	給湯混合弁異常	
—	—	740	リモコン通信異常(リモコンで検出)	
7回点滅	消灯	760	リモコン通信異常(機器本体で検出)	
8回点滅	消灯	764	給湯器通信異常(給湯器未検出)	

ご使用の前に

使いかた

必要なときに

仕 様

種類			太陽熱利用給湯システム	
システム型名			ASEH-2200	ASEH-3200
設置区分			屋外(防雨) / 屋内兼用型	
集熱方式			強制循環式	
給湯・給水方式			水道直結式	
貯湯ユニット	型名		ASEH-200T	
	タンク容量	L	200	
	タンク材質		特殊ステンレス鋼板	
	電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz	
	消費電力	制御	W	3
		集熱運転時	W	13~75(可変)
		凍結予防ヒータ	W	90
	外形寸法 高さ×幅×奥行	mm	1,372×560×630	
	質量(満水時)	kg	52(267)	
	集熱制御		サーミスタ温度検知による自動運転	
	減圧弁圧力	MPa	0.37	
	安全装置		過電流防止装置・負圧防止安全装置・凍結予防装置	
集熱ユニット	型名		ASEH-1000C	
	使用数	枚	2	3
	集熱ユニット総面積	m ²	3.90	5.85
	質量(満水時)(1枚)	kg	38.5(39.3)	
	外形寸法 高さ×幅×奥行(1枚)	mm	56×1,012×1,928	
	材質	集熱体	フィン：アルミ合金 水管：銅管	
		透過体	半強化ガラス	
		外装材	溶融亜鉛めっき鋼板＋塗装	
付属品		取扱説明書・工事説明書・QF16Pタケノコジョイント・樹脂管バンド		

●このページは空白です。

ご使用の前に

使いかた

必要なときに

アフターサービス

修理を依頼するとき

- 「故障かな？と思ったら」**27～29ページ**をもう一度確認していただき、直らないときは、**お買い求めの販売店にご連絡ください。**

お買い上げ日	年	月	日
販売店名	電話番号		

※お買い上げ時に **27～29ページ** の欄に必要事項をご記入ください。

- 修理を依頼するときは、お買い上げ日と右の内容をお知らせください。
- 修理料金は①技術料＋②部品代＋③出張料などで構成されています。
 - ①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
 - ②修理に使用した部品代金です。
 - ③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

品名	Asahi太陽熱利用給湯システム
型名	ASEH-200T
故障の状況	できるだけ詳しく
お名前・ご住所・電話番号・訪問ご希望日	

保証・修理について

- この機器には「保証書」がついています。
正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 家庭用の給湯以外の特殊な使用方法での不具合発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結や析出物(炭酸カルシウムなど)による故障の場合は、保証期間内でも有料になります。

転居または機器を移設するとき

- 転居するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
- 移設はお買い求めの販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後10年です。
性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。



朝日ソーラー株式会社

大分本社 / 〒870-0844 大分県大分市古国府1003-2
TEL:097-546-7500(代) FAX:097-546-7555
URL:<http://www.asahisolar.co.jp>

修理・その他ご不明な点等ありましたらご連絡ください。
お問い合わせ先は

フ ロ ハ サ イ コー
0120-268-315

24時間365日オペレーターが受付いたします。

販売店